

KTK
NO.98

あらかさ通信

編集 あらかさ後援会
編集協力 社会福祉法人あらかさ福祉会
〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内広海道42-3
TEL 075-953-9212 FAX 075-953-9215

後援会費郵便振替口座
01070-7-32145
あらかさ後援会

今年も美味しいスイカができました



今年も畑でとれた小玉スイカをデイセンター2のみんなで食べました。自分たちで育てたスイカなので、「中はどうなってるのかな〜?」「ちゃんと出来てるのかな?」とドキドキ…。食べる前からとても嬉しそうな利用者さんでしたが、食べている時にはさらに良い表情をされています。また来年も美味しいスイカがとれるといいですね。

祝

あらかさ☆はなごか隊
国土交通大臣表彰を受賞!

道路環境整備への取り組みに対して、八月に道路功労者として表彰されました

みんなおいでよ～あらかさひろば

*詳細はチラシをご覧ください

日時 10月29日(日) 11時～14時
会場 障害福祉センターあらかさ

あらぐさクッキー作りの大ベテラン



得意芸「夜桜お七」 — 踊りと歌でも活躍

昭雄さんは41歳、家は長岡京市です。お兄さんと2人兄弟です。

「かざぐるま」(グループホーム)からあらぐさに通っています。クッキーづくりのベテランで、クッキー職人と呼ばれています。



向日が丘養護学校へ

就学の時期になり、迷いましたが地元の第5向陽小学校に適切な集団がなく、向日が丘養護学校に入学しました。この頃クラスは学年が縦割り、クラスの友達は大い人がたくさんいました。「山の活動」に出かける時など、小さくて筋力の弱い昭雄さんは疲れはてていました。何をするにも「1番」でないと気がすまず不機嫌になることもよくありました。この後クラス編成は低学年と高学年に分けられました。「山の活動」の積み上げで、低緊張気味だった筋

おいたち

昭雄さんは、舞鶴の赤十字病院で誕生しました。産声が弱く、お乳があまり飲めませんでした。出産時2800gあった体重が2500gまで下がり、鼻注栄養にきりかえました。しばらくしてお父さんの仕事で舞鶴から向日市に転居しました。そして京都市立病院でダウン症と診断されました。向日市の保健婦さんがすぐに訪問に来てくれました。当時は会社の社宅に入ったばかり。社宅の皆さんはよくしてくれましたが、お母さんはショックで公園等に出かけることもできず、家の中に閉じこもっていました。赤ちゃんの頃の昭雄さんは、あまり泣かずよく寝て育てやすい子でした。



力を鍛えることができ、クラスの友達とも達成感を共感できるようになりました。その頃とても気の合う男子が転校してきました。2人ともことばで話すことは

不自由だったけど、大の仲良しになりました。中学部になる時にその子は西養護学校に転校していきました。

2歳になりボニーの学校に入った時、お母さんは救われた思いがしました。首のすわりも遅かったのですが、ようやく歩けるようになっていました。3歳で向日市立第6保育所に入園。初めは週1回の母子通園でした。昭雄さんはすぐ皆と仲良くなり、出かけることが好きになりました。5歳の誕生日を迎える頃、「ペルテス」という病気になりました。股関節の骨頭が傷ついて痛む、成長期になりやすい病気、整形外科の深瀬先生を受診し、装具をつけて1年ほど治療を続けました。

向日が丘では言語訓練を受けていました。昭雄さんは、いつも友達のことをよく見たり聞いたりしていました。模倣がとても上手でしたが、言葉が出にくいので、担任の先生たちは、コミュニケーションの力をつける相談をしました。そして手話を取り入れ、楽しいことを支えにジェスチャーで伝え合うことを学びました。初めは友達や先生の名前を表現し

ました。教室では楽しいことをいっぱい取り組んで、友達とジェスチャーでコミュニケーションしました。昭雄さんの自我が豊かに育っていく時期、気持ちのコントロールもできるようになっていきました。

体育祭では、応援団長が毎年の昭雄さんの役でした。トラの衣装などを着用、大きなかけ声をかけたり、踊ったりとても張り切っていました。

中学部に入ってお習字を習い始めました。師匠は元向日が丘の先生の中江先生。このお習字は長く続け、「良寛さんの字」と言われ特徴のある字でした。展覧会では銀賞をいただくほどの腕前になりました。「とっておきのさをり展」では看板を書き上げました。

高等部に入ると、寄宿舎入舎を体験しました。その時に家からJRのバス停まで歩いて、バスで一人通学できるようになりました。バスに乗ることは大好きでしたが、お母さんは心配で、かくれながら見守りもしました。スペシャルオリンピックスには、ボーリングで参加しました。

地域のくらしとあらぐさ



小学校2年生の時、向日市の障がい児学童「がんばクラブ」ができました。先輩のお母さんたちが何度も行政に働きかけて、初めは親が就労していることが条件で、始めることができました。

高等部になると「さくらの会」(進路問題の親の会)をつくりました。そして昭雄さんは卒業後「あらぐさ」に入りました。下海印寺や久貝の作業所に通い、クッキーづくりが上手になりました。最近は目が悪くなって、クッキー種を置くのに少し工夫が必要になりましたが、働く仲間とともに、ベテランのクッキー職人として仕事をやりこなしています。ツバキエマソンなど、お得意先まわりの販売活動も、はりきっています。

昭雄さんはあらぐさの旅行をととても楽しみにしています。なんといっても夜の宴会は昭雄さんの出番です。得意芸「夜桜お七」の「衣装」を着て踊り歌

う昭雄さんの芸人ぶりに、みんな大喜び、大いに盛り上がる一時です。



今ガイヘルのサービスを19時間持っています。友だちと「タロウくんの旅行社」企画の外出、テレビガイドの買い物に利用しています。通院介護は2時間で、安藤歯科に通院しています。土日の休みには、お父さんと3人でイズミヤの買い物に行っていますが、趣味の「執筆活動」に必要なセロテープ、紙などを買い込んでいます。昭雄さんは働いて得たお給料をしっかりと管理しています。お出かけの時には、自分の給料から10円何枚、100円何枚、1000円何枚と自分で準備していきます。毎年のガラシャまつりでは、鳴子踊りに参加。明るく行動的な昭雄さんは大勢の人の輪の中でよく働き、よく遊び楽しそうです。



お母さんのこと・・・「あきおに ひっぱられて 生きてきました」

昭雄さんが保育園の時、友人にすすめられて洋裁の仕事につきました。毎日楽しくウェディングドレスなどを作っていました。今はパッチワークの仲間と楽しく作品を作っています。8年前に痛みで苦しんでいた両股関節の手術をしました。この時はお父さんが昭雄さんの土日の生活を支えました。お母さんは「保育園、ポニー、学童保育、進路問題と昭雄にひっぱられて生きてきました。」と話しておられます。

(取材：前田幸子 真殿尊子 坂下佳子)

とっておきの一枚



ワークセンターあらぐさ
伊勢旅行へ行ってきました

6月15日・16日に一泊旅行で伊勢に行ってきました。

とても良いお天気の中、お見送りの人たちに手を振ってあらぐさを出発です！

伊勢では各班に分かれて、三重の名物赤福の本店で夏季限定の赤福氷を食べたり、内宮へお参りに行ったり、お店巡りをしたりして楽しみました。

夜は待ちに待っていた宴会！
事前に決めていた歌を1人2曲ずつ歌いました。思わず立ち上がって踊る人もいて、とても盛り上がりました。

2日目は鳥羽水族館へ行きました。アシカショーでアシカの芸を見て、「かわいい！」「すごい！」など声が挙がっていました。その後、グループに分かれて館内を見学しました。「オウムガイが見れて良かった」「ヘビが良かった」「イルカかわかった」など帰りのバスで盛り上がりました。

今年も怪我なく無事に旅行を楽しむことができました！

製品紹介

梅干し

デイセンター2



きれいに漬かりました。
販売にも行きます。
オススメです。



今回紹介するのは、デイセンター2の食品加工で作っている梅干しです。奈良県産の梅を塩や赤紫蘇に漬け、天日干しをしてから梅瓶に漬け込みます。梅の良い香りを感じながら作業しています。

市場には減塩梅干しやはちみつ梅干しなど様々な種類の梅干しがありますが、あらぐさの梅干しは塩分15%で味付けをしています。昔ながらの風味が特徴で人気の製品です。

今年は10kgの梅をつけ込みました。ぜひご賞味下さい。

きょうされん **2018 京都大会** に向けて

きょうされん総会に参加して



あらぐさ職員 森下 純平

2017年5月24日に東京で行われた、きょうされん第40回総会に参加してきました。総会では、まだ支部のない静岡や群馬や宮崎からの参加者が、支部結成に向けて頑張っているとの発言や、利用者部会が「ねるとんパーティー」を企画して恋人探しをした話などがありました。

今年の全国大会は北海道です。現在の社会情勢は東日本大震災や熊本地震からの復興や相模原事件のことなど、様々な問題があります。国は「我が事・丸ごと」という言葉で社会保障全体の切り崩しを進めていこうとする動きが感じられます。福祉情勢は、今後さらに厳しい状況になる可能性

があります。全国大会を通して、きょうされんを守り支えていくことの大切さを感じました。また、グッズや宣伝のための映像など、大会を盛り上げていく具体的な方法も見ることができました。

そして、来年9月にはきょうされんの全国大会が京都で行われます。総会の中で大会への意気込みを京都からの参加者全員で発言することが出来て、これから一緒に頑張っていくことを実感できました。私自身も大会開催に向けての覚悟が出来ました。まずは、北海道大会を成功させ、来年の京都大会へとつなげていけたらと思います。

障害福祉センターあらぐさ 職員

三宅 麻葵 さん



4月からAグループに所属しています、三宅麻葵です。まだ入職して半年ですが、最初は私の緊張が伝わっていたのか、緊張した表情をしていた利用者さんが、少しずつですが自然な表情を見せてくれるようになってきたように感じています。

私は大学卒業後、大阪市にある就労継続支援B型・生活介護の事業所で5年半勤務していました。言葉で自身の思いを伝える方もいれば、表情や行動で伝えてくれる方もいました。関わり始めた当初はなかなか何を求められているのか分からず、毎日どこかしかったことを覚えています。そんな中、毎日の挨拶や食事、作業等、いろんな工夫をして関わる時間を取り、やっと伝えていることをこちらが理解出来た時、利用者さんの表情がパーッと明るくなった時のことが今でも忘れられず、私がこの仕事にやりがいを感じ始めたきっかけとなりました。

結婚を機に京都へ引っ越すことになったのですが、やりがいがある福祉の仕事が続けたいと思い、事業所見学をしていました。その中で、一番印象に残ったのがあらぐさでした。壁に利用者さんの作品がたくさん掲示されており、作っていた過程を話している利用者さんや職員の方の表情が生き生きとしていたからです。

今は、実際にAグループの方と作品作りをしています。野菜スタンプでは、一緒に色を決め、感触を確かめ、匂いを嗅いだりと、たくさんの時間をかけて気持ちづくりをします。作品が出来上がった時、見学時に生き生きと話されていた皆さんの気持ちが分かった気がしました。まだまだ慣れないことばかりで学びの日々ですが、少しずつ利用者さん一人ひとりを知り、寄り添った支援ができるように頑張っていきたいと思います。今後ともよろしく願います。

あらぐさ後援会総会 報告

6月3日にあらぐさ後援会総会が開かれ、予定された28年度事業・決算報告、監査報告、29年度事業計画・予算案、及び役員は承認されました。総会で総額114万4666円が法人に寄付されました。内訳は一般会計より30万円とあらぐさ支援募金より84万4666円(283個人団体)です。

総会二部で、ハンセン病回復者とともに歩む関西連絡会の松本聡子さんから「ハンセン病問題からみる人間の尊厳」のテーマでお話をいただきました。

奇蹟的羊



～ふわふわの世界展～

手作りの作品展です

2年ぶりの開催となります

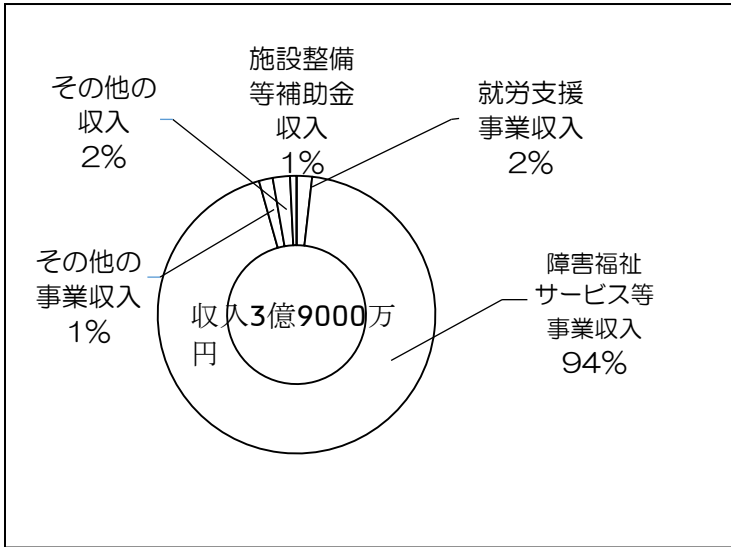
●10月14日(土)～18日(水)

10:00～16:00

14日は13:00～ 18日は～15:00

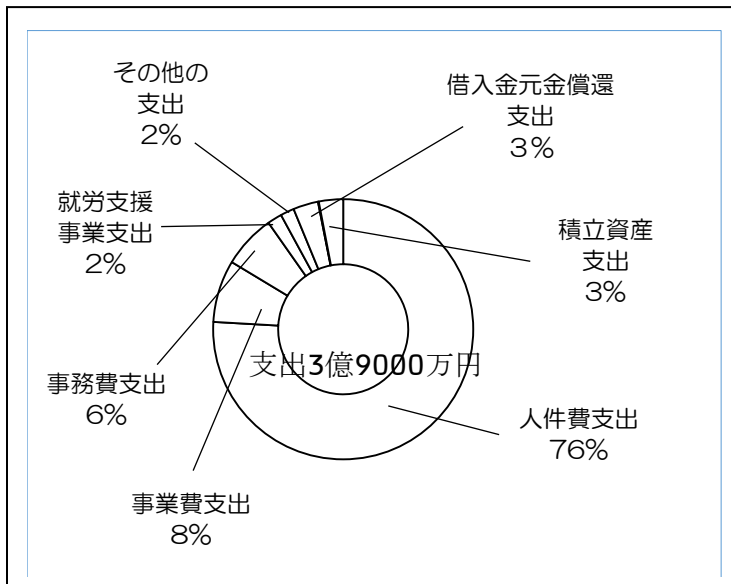
●アトリエ畔 (光明寺門前北側)

平成28年度 社会福祉法人あらぐさ福祉会 財務状況



(収入)

障害福祉サービス収入
 …障害福祉サービスに対する国、地方公共団体からの介護給付費



(支出)

人件費支出
 …常勤職員 50人 非常勤職員 80人
 事業費
 …主に利用者の活動に関わる支出
 事務費
 …運営事務に要する支出
 借入金元金償還支出
 …建物・土地の借入金返済

(平成28年度の特徴)

障害福祉サービス等事業収入は、昨年度に比べ 1000 万円ほど増収になりました。これは、グループホームの定員充足と利用者の泊数が増えたこと、それに伴う居宅介護等サービスの利用が増加したことなどによります。

支出の部では、人件費が定期昇給などにより 330 万円ほど増額しました。収入に占める人件費の割合は年々増加しています。その他事業費、事務費等は、昨年度水準を維持しています。また、積立資産支出として 1200 万円ほど積み立てることができました。

財務諸表についてはあらぐさホームページに公開しています。

<http://www.aragusa-fukushi.jp/>

あらぐさ後援会 加入・募金 ありがとうございます

平成29年4月1日～7月31日 敬称略・順不同

赤城博子 浅野真奈美 阿波谷陽子 井垣優 生路
智子 池田恭子 池田広子 井古テル子 石田秀子
石堂宏宜 石村和子 一谷孝 伊地知洋晃 伊地知
有華 伊藤五郎 伊藤卓次 伊藤憲一 稲葉薫
因幡広和 井上世津子 井上敏子 射場隆 今井
和子 今井三郎 今西さよ子 上田和美 植田進
上田義博 上野志保子 株式会社魚国総本社 江川
哲 一般社団法人江後経営 太田政喜 大槻さつき
大月裕子 大槻裕治 大林雅子 岡本敦子 小川
貴士 小川真寿美 小川百合子 奥田保 奥山
禎二郎 小田淑子 小谷勝利 NPO 法人乙訓介護サ
ービス 乙訓教職員組合 乙訓地区労働組合協議会
甲斐幸子 垣内悦余 垣内望美 香月敬 勝良和子
桂誠司 金森たえ子 金子美智子 狩野直禊 河合
隆平 川瀬明子 河村千鶴子 神田千秋 岸陽子
北村民子 木下美智子 木村忠 共和運送株式会社
金原道雄 久保節子 くぼた医院 鞍貴聡史 倉橋
克之 粉川晴美 後藤真由美 小林健 斉藤泰樹
佐伯敏子 坂本憲哉 株式会社坂本建設 桜田吉昭
佐々木康二 佐藤敦子 佐野顯治 澤月子 塩尻
光明 柴田和泉 清水富子 生水愛 鈴木純子
角誠一 角撰子 住田初恵 専修院福本哲了 宋
彦一 田上玲子 高野泰男 鷹野安子 高橋恭三
高橋すなお 高橋久美子 高橋光子 高橋嘉子
瀧川正幸 竹澤哲夫 竹下久美 武永健二 多田
久美子 建山昌子 田中善久 田中礼子 俵福造
長誠一郎 長理恵子 塚上公治 辻真菜美 辻本
勝浩 辻本恭子 津田みさ子 天照教 都出とし子

銅銀正美 時田麻里 内藤時子 内藤秀春 内藤
敬子 永崎みさと 永崎靖彦 中路克介 中島悠太
司法書士中西正人 中野智恵 中村智江 中村弘子
中村マサエ 中山恵美子 夏川久子 夏原典子 西
幹男 西井美千代 西田政子 西田良平 西林
喜代美 西村宗昭 西山俊太郎 野々下國男
野々下靖子 長谷川朋子 波多由紀子 畠中清子
畠中勇治 八田萬喜雄 濱中信彦 浜野利夫 早川
美智子 林英夫 原木とし子 原田文孝 春田石油
有限会社 ぱんだ企画 平井多津子 平田喜裕
平野みどり 平山功 広瀬美砂 福祉保育労京都地
本あらぐさ分会 藤井則男 藤松素子 藤本秀延
藤原啓子 弁護士古川拓 細井創 細井雅代 細井
のぞみ 細川幸子 本田章子 本多三郎 前川明雄
前田幸子 前田真之介 前田仁 前田良子 増田
弘子 増田康夫 増田靖子 松島朱美 松村昭子
松村美代子 松本美津男 松山雅子 真殿尊子
三浦朱葉 水口秋子 三橋眞子 南下美津子 峰島
厚 三宅麻葵 宮崎芳子 宮田啓子 三柳美里
宮本悦子 宮本史朗 宮本靖子 村上雄治 村野
英介 村山容祥 森下純平 森本達也 守屋伸江
八木弘行 安井吉子 安井芳幸 安田耕治 安田隆
安武梢 安武真理 安松美佐子 藪見富喜男 山口
計子 山口武彦 山崎諭 山下敏夫 山下紀子
山田央 山田陽子 山中啓三 山本史子 横山和子
横山昌子 吉川泰史 療術院うえの上野徳太 渡辺
裕子 匿名 25名

後援会会員更新がまだお済みでない方は、同封の振込用紙にてよろしくお願ひします

1992年6月5日 第3種郵便物承認（毎月1回25日発行）2017年10月4日発行
KTK増刊通巻第4640号 発行所 京都障害者団体定期刊行物協会
〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下ル中之町519 京都社会福祉会館4階
京都障病車内 発行人 高谷修 頒価50円（購読料は会費に含まれています）

KTK
あらぐさ通信